

2012年9月



9月24日から30日は

結核予防週間です

明治時代から昭和20年代までの長い間、「国民病」「亡国病」と恐れられた結核。50年前までは、年間死亡者数も10数万人に及び死亡原因の第一位でした。医療や生活水準の向上により、薬を飲めば完治できる時代になりましたが、過去の病気とっていたら大間違いです。今でも1日に64人の新しい患者が発生し、6人が命を落としている重大な感染症なのです。

結核新登録患者数 (新たに結核と診断された患者)	23,261人	罹患率	18.2
結核死亡者数	2,129人	死亡率	1.7

(2010年)

結核とは？

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症が起こる病気です。重症の結核患者の咳などで結核菌が飛び散り、周りの人がそれを直接吸い込むことで感染します。

ただし、結核に感染しても必ず発病するわけではなく、通常は免疫力により結核菌の増殖を抑え込みます。10人が感染した場合に発病するのは1~2人です。免疫力で結核菌の増殖を抑えきれなくなると発病します。

結核の初期症状は風邪とよく似ています。咳やタンが2週間以上続いたら、医療機関を受診しましょう。早期発見が適切な治療につながり、集団感染を防ぐことにもつながります。また、咳が出る時は、マスクをつけることを心がけましょう。

○こんなときはすぐ病院へ！

- ・咳が2週間以上続く
- ・タンがでる
- ・体がだるい
- ・急に体重が減った



○結核になりやすい条件

- ・免疫力の弱い乳幼児
- ・ストレスや不規則な生活
- ・中年以前では女性がやや多く、中年以降は男性のほうが多い
- ・糖尿病や胃潰瘍、胃の切除をしたことがある人
- ・ヘビースモーカー

など



結核に感染したら

結核と診断されても、6か月間毎日きちんと薬を飲み続ければ治ります。ただし、症状が消えたからといって治療の途中で飲むのをやめてしまうと治るところか、菌が抵抗力をつけ、薬が全く効かない多剤耐性菌になってしまうこともあります。

多剤耐性菌にならないよう治療する為 WHO では、医療従事者が患者さんに薬を処方するだけでなく、患者さんが服薬するところを目の前で確認する方法を標準基準としています。これを直接服薬確認療法 DOTS（ドッツ）といいます。治療を確実にするために、服薬を支援する DOTS の推進が強化されています。お近くの保健所にご相談ください。

普段の生活から予防しましょう！



結核は注意をしていればそれほど怖がる必要はありません。免疫力の低下などで発症を引き起こすので、普段から健康的な生活を心がけ免疫力を高めておきましょう。抵抗力の弱い赤ちゃんは、結核に感染すると重症になりやすく、生命を危うくすることすらあります。結核を予防するために BCG を生後 3~6 ヶ月に接種しましょう。

結核医療費公費負担制度

治療の必要があると認められた場合、安心して適正な医療を受けることができるように、医療費の一部が公費で負担されます。

	入院	通院
自己負担 限度額	世帯全員の所得税額の合算額(年額) により決定 ・ 所得税額合計 147 万円以下： 自己負担月額0円 ・ 所得税額合計 147 万円超： 自己負担限度月額2万円	一律5%負担
必要書類	結核医療費公費負担申請書 エックス線写真 世帯全員の住民票 所得税額を証明する書類 (源泉徴収票・納税証明書等)	結核公費負担申請書 エックス線写真

※制度の内容が変更されている場合もありますので、詳細はお住まいの役所等にお尋ねください

(公益財団法人結核予防会 / 大塚製薬 / 盛岡市ホームページ 参照)



オーロラ薬局

TEL 019-635-1233

FAX 019-635-4555

オーロラ薬局 沼宮内店

TEL 0195-61-3883

FAX 0195-62-6868

オーロラ通信はバックナンバーも含めホームページでもご覧になれます。

<http://www.iwate-aurora.com/>